



鮮やかな新緑の葉桜に迎えられ、この春、横浜シュタイナー学園には、凛としたたずまいの新担任と 14 人の小さな仲間たちが加わりました。始業の日、それぞれの新しい教室に戸惑いながら足を踏み入れた学園の子どもたち。でもその翌日にはしっかりと確かな足どりで階段をあがっていくその姿を、大人たちは頼もしく眺めていました。また春がやってきました。

4月14日 入学式

例年より早く開花した桜の代わりに、新緑の木々のトンネルが、まるで手を広げて歓迎してくれているかのように私たちを迎えてくれました。

どんどん入学式を迎えていく公立のお友達を横目に、息子の中では益々小学校への楽しみが膨らんでいて、今か今かと待ち構えていた入学式がついにやってきました。

森田先生のはじまりの言葉により、厳かに式が始まりました。

そして新一年生の担任の先生の紹介があり、9年間教えて頂く先生と子どもたちが初めて出会い、握手をし、挨拶を交わしていきます。

子どもたち一人一人の心の中にはどんな思いが湧き出ているのだろう。

花かごをもらって嬉しそうに並ぶ子供たちのその表情から、未来へのわくわくと希望が溢れていました。

今一緒に並んでいるお友達と、これから9年間、共に学び、笑いあって、沢山のことを吸収するんだなあ…としみじみ感じました。これからよろしくをお願いします。

その後、子どもたちは先生と共に教室へ降りて行き、最初の授業を受けます。

シュタイナー学校では、最初に受ける授業は世界中どここの学校でも全く同じなのですよ、と先生から教えていただきました。

この授業から広がっていく世界。彼らの目には、どんな風に映ったのだろうか。

最後に、ライアーの会の先生と母さんたちが素敵な演奏を聴かせてくださいました。

ライアーの細く美しい音色が和音を奏でると、その空間が幸せで満たされていくのを感じました。

美しい音を自分の耳や身体を通して聴けることの幸せ。その感覚。

今日のこの日のことを、いつまでも覚えていてくれますように。



少し前には卒園式で、随分大きくなったなと感じたところだったのに、今日ガーベラやラナンキュラスのお花の入った花かごを持って誇らしげに立つ彼の姿は、卒園の頃よりももっと成長した、立派な青年に近づいていく、そんな空気を身にまとっていました。

手をつなぎ、兄と姉を見送っていた小さな彼との時間を懐かしく思いながら、寂しくもあり、でもこの学園に入学できたことの喜びを感じています。

(1年生保護者 渋川亜季)

子どもたちの船出を見送るように、大人たちは歌を歌い、詩を朗読しました。

この旅路が豊かでありますように。
例え辛いことがあっても、私たちはあなたを守ります。

そんな思いを 14 人の子供たちに送りました。

新1年生担任の紹介

3学期から霧が丘校舎で研修を行っていた末永恵美先生
いよいよ4月より新1年生クラスの担任となりました。
お名前の通り、「末永い」お付き合いになります。

こんにちは、末永恵美です。
横浜シュタイナー学園で、4月
から1年生の担任を受け持たせ
ていただくことになり、ドイツ
のシュツットガルトから日本へ
帰ってきました。家族はドイツ
人の夫、ミュンヘンで勉強して
いる娘です。



娘はシュツットガルトのヴァ
ルドルフ学校に13年間通い、
母親として学校に関わりまし
た。ドイツには239校のヴァ
ルドルフ学校があり、1~13年
生まで86,995人の生徒が学
んでいます。(2016/17の統計：Bund der Freien
Waldorfschulen. Jahresbericht 2017より)市内には
1919年に創立された第1番目のヴァルドルフ学校を含む4
校、そして魂のケアを必要とする子どもたちのための学
校、合計5校があります。この学校以外のうち3校は1学
年2クラスあり、各クラス36人前後の生徒が学んでいま
す。公的機関からの補助もある私立学校として、一般的な
学校の中での一つの選択肢として、ドイツでは存在してい
るように思います。

シュタイナー教育を知ったのは、娘が3歳のとき、幼稚
園を探す過程においてです。市から幼稚園のリストをとり
よせ見ていると、2つの幼稚園が目にとまりました。モン
テッソーリとヴァルドルフ幼稚園です。通常の幼稚園の先
生の勉強の上に、さらに勉強している先生方はきっと意識
の高い方々だろう、と思い、本を読みました。モンテッソ
ーリは純粋に教育ですが、シュタイナー教育はシュタイナ
ーの世界観から来ている教育である、そう思ってシュタイ
ナーの本を読みました。そしてこのような世界観を背景と
して持つ先生方であるなら信用できると思い、ヴァルドル
フ学校に決めました。

娘が14歳のときに、親も参列する青年式がありました。
そのときに「教育」ということの意味を、シュタイナー教
育は本当に「人間を育む」と再認識し、勉強しようと思
いました。

まず人間の0歳からの成長の過程を知りたいと思い、ヴ
ァルドルフ幼稚園教諭養成講座からはじめます。ここは養
成講座なので、2年間幼稚園で毎日実習をしながら17週
間、およそ1ヶ月半に1週間の割合でセミナーで集中的
に勉強します。その後、シュタイナー教育機関であるシュツ
ットガルト自由大学で学士課程1年、修士課程2年、計
3年間フルタイムの学生として勉強し、昨年7月修了しま
した。

この間並行して約7年間、シュツットガルト日本語授
業補習校で毎週土曜日、小学3年生クラスを2年、4~5
歳児の幼児部クラスを約5年担当しました。補習校では日
本人駐在家庭、両親のどちらかが日本人、もしくは日本語
が堪能なドイツやフランスの子供が通っており、日本語を
話せて理解することを前提とし、授業もしくは保育をすす
めます。

そして今、新しいスタート地点に立っています。
横浜シュタイナー学園で、ご父兄の方々と子どもたちと、共
に歩み、学び、そして成長していけることを、とてもうれし
く思っています。どうぞよろしく願いいたします。

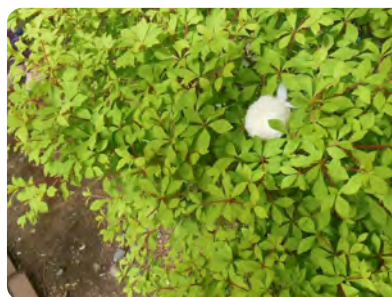
春まつり

学園恒例の春まつり。霧が丘校舎で学ぶ5年生までの子
どもたちと1年生が初めて出会い、一緒に過ごす時間です。
観覧した1年生の保護者が感想を寄せてくれました。

息子は体調不良により入学式には出られなかったため、
春まつりの日が初めての登校日となりました。熱が下がっ
たばかりの息子は、ちょっと不安そうな顔をしながらの登
校でしたが彼のペースでゆっくりと靴を履き替え、しっか
りと先生の手を握り、小さな声でしたが挨拶をしていま
した。

息子を送りだし、待っている間おひさまの部屋の窓から
お兄さんとお姉さんたちが校庭で何かを隠しているよう
な姿が見えました。

暫くして1年生の準備が出来た頃、校庭に集まりました。
すると、5年生のお兄さんに手をひかれ息子たち新1
年生がやってきました。私たちも春まつりは何をするのだ
ろうとワクワクしていると、宝さがしが始まりました。お
兄さんとお姉さんが前もって作って隠してくれたひよこや
うさぎ、天使の人形を校庭の中から探すというものでし
た。花壇や木の枝などに隠された人形を、お兄さんと共
に一生懸命探す姿がほほえましくありました。途中、宝のひ
とつが見つからず、みんなで探すというハプニングもあり
ましたが、無事に全て見つけることができました。見つけ
た人形を息子から受け取り、丁寧に作られた人形にと
ても感動しました。持ち帰った人形を息子はとても気に入り、
早速ランドセルに付けて登校しています。



ちいさな宝物、見つけられますか？

その後、1年生から5年生と先生方みんなで手を繋いで
大きな輪を作り、歌を唄って校庭を回る姿を見て、小学生
になったのだと感慨深くなり、またこんなにも温かく迎
えられる息子の姿にちょっぴり涙がでました。

春まつり終了を先生が告げると、保護者の方々に作っ
て頂いたとても可愛らしいことりパンが子供たち一人一人
に配られました。なんと、先生方や保護者各家庭の分も含
めて全員分…。本当にありがとうございました。

余談ですが、春まつり後に木のぼりをしてわんぱくに遊
ぶ5年生お兄さんと、男女ともに鬼ごっこで遊ぶ2年生を
見ることが出来ました。年齢に応じた息子の成長の姿を想
像でき、おもしろく、とても楽しみな気持ちになりました。

準備をしてくださいました先生方、保護者の皆さま、1年
生を優しく迎えてくれたお兄さんお姉さんありがとうございました。
シュタイナー学園での日々が始まります。私たちも
子どもと共に学び成長し、子どものために気を引き締めて生
活していきたいと思っております。

(1年生保護者 小野ひとみ)

シリーズ農業講座

「土のこと地球のことを考える」

シュタイナーが提唱し、太陽系内の惑星の運行を考慮したバイオダイナミック農法。熊本県・阿蘇で【ぼっこわば耕文舎】として、この農法を実践し続けているピリオ・ドニー氏と假野祥子氏を講師にお迎えし、2014年度から毎年開催されてきたこの農業講座。農業のこと、地球のこと、日本のこと・・・ここで出会う人たちとの時間を大切に、シュタイナーのメッセージを感じる1日です。

参加者のお一人に感想を寄せていただきました。

※2018年度も、連続講座「多面的シュタイナー考察」の一つとして、3月の開講が決まっています。

農業講座「土のこと、地球のことを考える」

～「まとめ」土壌の肥沃と調剤について～に参加して

去る3月19日、ルドルフ・シュタイナーが提唱した太陽系の惑星の運行を考慮したバイオダイナミック農法を、1985年、日本で初めて実践し始めたピリオ・ドニー氏とパートナーの假野祥子さんを今年も熊本からお迎えしての講座が開かれました。ドニー氏の農業歴は45年、ダイナミック農法歴は35年、阿蘇にての実践が続いています。

その様子がライブで聴けるワクワク感と少々難解でもある故のドキドキ感とが相まって、私にとって3回目の今回はさらに神秘さと深遠な驚きを持ちました。

現在のバイオダイナミック農法の元になったのは、シュタイナー氏の晩年の7年間位に開かれていた農業講座。これを、死後、お弟子さん達が実践を継続し、今日の「バイオダイナミック農法」となったそうです。現在29年目を迎える阿蘇の圃場でやってきたことをお伝えしたい～と話が始まりました。

自然界の1年のリズム、1日のリズムに則り、バイオダイナミックの農作業をすすめる上での基本として「農事暦」があり、通常種まきカレンダーと呼ばれています。

『太陽が黄道上（天球上の太陽の通りみち）の12星座の前を移動してゆくとき私達は季節の影響として体験している。例えば魚座にいる太陽は北半球に春をもたらし、牡羊座にあってはその熱で発芽を促し、牡羊座、双子座、蟹座では根の発達と葉の繁茂を促して花への変態を用意し、8月～9月にかけて種子形成を促す獅子座へとやってくる』というものです。主要な4つのエレメントの働きで、全ての植物は12星座を巡ってゆく太陽系全体の天象に従って農作業の予定が立てられます。このような農事暦のドイツでの原本から、毎年ドニー氏が日本版を作成されています。

そして世界的に注目されている「バイオダイナミック調剤」の話へと延々と続くのでした。



講演中のピリオ・ドニー氏

私は25年前、あるご縁で阿蘇のぼっこわば耕文舎に1週間滞在したことがあります。その時、調剤の原型の牛糞を詰めて地中に埋めてあった牛の角を大切に切り出して見せて下さいました。母屋の軒先でみた箱に並んだソレは不思議なものに映りました。そして畑に撒くと聞いても少量の不思議な物としか見えてない私には広大な畑地にどのように撒くのか？わからず・・・土地改良ができるの？？という疑問で途切れたままでした。

今、25年余を経て3回目の講座を聴き私のなかでの1歩となりました。

「種まきカレンダー」を時々開いて眺めると楽しい。土の中から天空まで想像してみる。宇宙で北半球方面から地球をながめるのを想像し、どの角度の国々にいつ地震が起きる可能性があるのか～というページを見ると、日本をはじめ地震国が名を連ねる。例えば熊本地震は2016年4月14日に起きたが、この4月に要注意日が3回あり、その3回ともに「メキシコ、チリ、日本」が記されていた。

農業講座に参加して認識が広がった幸せな時間を持ちました。感謝。

(NPO 会員 倉内美代子)

インフォメーション

～詳細については学園サイトをご覧ください～

2019年度入学説明会

6月23日(土) [A]
14:00～16:00 霧が丘校舎

6月30日(土) [B]
10:00～12:30 十日市場校舎

※2019年度に入学をご希望の方は、A→Bの順で両方の回に必ずご出席ください。

【今後の日程】

9月15日(土) [A]
9月22日(土) [B]
9月23日(日) [A]
9月30日(日) [B]

2018 オープンデイ&学園祭 「今こそ、教育をえらぼう」

6月16日(土) 10:00～15:00

日頃、当学園で行っている教育や教室の様子、子どもたちの作品などを公開する『オープンデイ』を霧が丘校舎にて開催

十日市場校舎では高学年による『学園祭』を同時開催
学園祭は、すべて7,8,9年生による手づくり企画

ぜひ、両校舎とも足を運んでみてください。
★ 学園祭(十日市場校舎)から回ると、比較的ゆったりご覧いただけます。



妊婦さん・乳幼児家庭向け講演会 「こどもと暮らし」

幼児教育のプロフェッショナルをお迎えしての特別講座

日程:

第1回目 6月3日(日)
10:00～12:00
講師: 松浦園(なのはな園教師)

第2回目 7月15日(日)
10:00～12:00
講師: 宮地陽子
(横浜シュタイナーこどもの園教師)
定員: 各15名

連続講座

「シュタイナー学校を知りたい2018」

【第1回目】親子で体験「親子オイリュトミー」
日時: 5月13日(日) 10:00～12:00

対象年齢: 年中～小2まで(それ以外のお子様はご参加できません)

※大人のみでも参加できます。

定員: 親子15組

【第2回目】大人のための体験授業 I
低学年編「かずの学び」
日時: 7月8日(日) 10:00～12:00
【第3回目】大人のための体験授業 II
高学年編「音響学」
日時: 7月8日(日) 13:30～15:30
定員: 各20名

茶話会/校内見学会

学園の雰囲気を感じていただけるこの機会に
どうぞお訪ねください。

校内見学会

～教室など校舎内を教員・事務局員がご案内

日時: 5月20日(日) 10:00～

茶話会

～教員を交えてざっくばらんにお話ししましょう

日時: 5月30日(水) 10:00～12:00

参加費: 無料

場所: 霧が丘校舎

学園にご興味・ご関心のある方はどなたでもお越しください。お子様連れも可です。

※お子様の上履きをご持参ください。

☆星の金貨☆

スクールショップ星の金貨では、文具類の他、季節のポストカード・虹染め布・木工品・編みぐるみ・書籍・貴石・ヴェレダ商品など取り揃えて皆様をお待ちしております。
どうぞお立ち寄りください。

ご寄付ありがとうございます

(順不同・敬称略)

荒木美知子、金田治子、水野徳子、村山雄一、室恵子、小澤昌弘

また、今年度もたくさんの皆様から会員のお申し出をいただき、大変心強いです。心より御礼申し上げます。

～新規入会ご希望の方は事務局までお問い合わせください～

横浜シュタイナー学園

～Newsletter 第110号～

2018年4月24日発行

編集: 広報の会

発行: NPO法人 横浜シュタイナー学園

<https://yokohama-steiner.jp>

〒226-0016 横浜市緑区霧が丘3丁目1-20

TEL/FAX 045-922-3107

※掲載内容の無断転載をお断りします

お問合せ、お申込み先

横浜シュタイナー学園事務局

Tel&Fax: 045-922-3107 e-mail: gakuen-info@yokohama-steiner.jp

【会費・ご寄付等お振込先】

郵便振替: 00260-0-130702

加入者名: 特定非営利活動法人横浜シュタイナー学園

ゆうちょ銀行: 店番029 支店名029店(せにきり店) 当座013702